



- めざす児童像
明るい子ども
正しい子ども
強い子ども

○ 学校の教育目標

豊かな心で正しく判断し行動できるたくましい体をもった子どもを育てる
～しっかりととした夢をもち、夢の実現を目指して頑張る子どもの育成～
串間市立秋山小学校 校長より NO. 4 令和5年7月21日発行

秋山っ子

第1学期終了

第1学期が終了しました。今学期、秋山小の児童が大きな事故にあうことも、事件に巻き込まれることもなく、終えられるのは学校と家庭、地域が一緒になって児童を見守り、指導している成果だと思います。あらためて深く感謝を申し上げます。明日から児童が楽しみに待っていた夏休みが始まります。夏休みには、長い休みでしかできないようなことにも取り組んでほしいと思っています。どんなことができるのかご家庭でも話し合っていただけたとありがたいです。そして、何と言っても「安全」と「健康」には特に気を付けて、元気に生活してほしいと思います。学校では、夏休み中に注意することをたくさん指導しています。ご家庭でも「夏休みのしおり」をお子さんと一緒に確認していただき、ご指導をどうぞよろしくお願ひします。

ALT（外国語指導助手）訪問

6月29日（木）に串間中学校のALT（外国語指導助手）のケイソン先生がパフォーマンステストのために本校に来られました。本校に来られるのははじめてでしたので1校時は全校児童を対象に自己紹介をしていただきました。好きな食べ物や母国であるカナダのことなどを教えていただきました。給食も一緒に摂り、そのあと体育館で一緒に遊びました。今、児童の中で流行っているミニテニスをしましたが、ケイソン先生はとても上手でした。次に来られるのは、2学期だそうです。次の交流が楽しみです。



5校合同鑑賞教室

6月30日（金）に串間市文化ホールの小ホールで鑑賞教室を実施しました。今年度は北方小、有明小、本城小、市木小、秋山小の5校合同で行いました。いつもより大人数で、とても盛り上がりました。今回は、ユニット「あんてな」さんのオリジナル作品「めじろくん」という劇を鑑賞しました。引っ込み思案な少年が体験した、ひと夏の心あたたまるファンタジーな物語でした。鑑賞後、児童からは、「演技が上手だった。」「登場人物がいきいきと動いていた。」「演技に迫力があっておもしろかった。」「めじろの王様が男の子にいろいろ教えてくれてよかったです。」など感想が聞かれました。なかなか生で劇を観る機会のない児童にとって、とても楽しい時間になったようです。

七夕の飾り付け～願い事が叶いますように

7月4日（火）に七夕飾りの飾り付けをしました。児童、職員がそれぞれ願い事を短冊に書いて飾りました。児童の願い事を見てみると

- テストで百点取れますように。
 - ○○の大会で優勝できますように。
 - いつまでもみんなと仲よく遊べますように。
- などと書いていました。

秋山小の児童が元気に楽しく過ごせることが私の願いです。



宮崎県いのちの教育週間

7月1日（土）～7日（金）の宮崎県いのちの教育週間では、次のような取組をしました。

① 「いのちや生きることについて」の名言の紹介（一日1つずつ）

今年度の名言は、下の5つです。

- ・ 詩人、谷川俊太郎さんの「いきる」の一節「いま生きているということ 泊けるということ 笑えるということ 怒れるということ 自由ということ」
- ・ 詩人であり宗教家でもある相田みつをさんの「ぐちをこぼしたっていいがな 弱音を吐いたっていいがな人間だもの たまには涙をみせたっていいがな 生きているんだもの」
- ・ 沖縄出身のロックバンドかりゆし58の「嗚呼、人生が二度あれば」のさびの部分である「嗚呼、時を戻せるなら もう一度あの日に戻れたなら 今日という日はどこへ向かうのだろう 嘴呼、人生が二度あれば もしもこの人生が二度あれば 涙なんて流れはしないだろう 命がこんなに輝きはしないだろう」
- ・ 精神科医で随筆家であった斎藤茂太さん（歌人で精神科医でもあった斎藤茂吉さんの息子、小説家・随筆家で精神科医でもあった北杜夫さんの兄）の「人生に失敗がないと、人生を失敗する」
- ・ 福田赳夫元内閣総理大臣の「一人の命は地球よりも重い」

② 生命尊重を題材とした道徳の授業の実施（全学年）

③ 市医療介護課の保健師さんを講師に迎えてのSOSの出し方の授業を実施（全学年）

7月7日（金）の5校時に実施しました。困ったときや悲しいときは、誰か（周りの大いや友だち）に「たすけて」と相談することを学びました。授業後の感想を見ると

- 困ったときには、相談するようにしたい。
- 困っている人がいたら声をかけて、悩みを少なくできるようにしたい。
- 今日学んだことを生かして、自分から声をかけたい。
- これからも命を大切にしていきたい。

などの記述がありました。

④ 命についての話（全校朝の会にて当番の職員）

全校朝の会で5名の職員が、命の誕生やつながり、尊さや、一日一日を大切に過ごすことなどについて話をしました。



「ういてまで」教室（着衣泳）

7月13日（木）日の3校時に串間市消防署の方々を講師としてお招きし、「ういてまで」教室（着衣泳）を実施しました。最初に今日の教室の目的と心構えについて話がありました。話の後は、安全な入水の仕方について教えていただき、実際にやってみました。入水後は、プールを1周歩いて回り、服を着ている時には、歩きづらい（水の抵抗が強い）ことを体験しました。最後は、「浮いて待て」のように背泳ぎの練習をしました。浮くことができる児童は何も持たずに、まだ浮くことができない児童はペットボトルを使って浮く練習をしました。毎年実施しているので特に上級生はとても上手だとほめていただきました。最後の話では、夏休みの安全な過ごし方ということで「絶対に子どもだけで川や海には行かない。」ことを指導していただきました。秋山小の児童は、教えていただいたことやご指導いただいたことを生かして、安全で楽しい夏休みを過ごします。ご指導いただきありがとうございました。

